

ごあいさつ

G'VALUEの創造。 世界の、あなたと。

取締役社長
清水 順三



VISION2015の実現に向けて

2006年は、「新生・豊田通商」が誕生した記念すべき年であり、トーメントの合併を成功させて次世代への基礎をつくるための非常に重要な年でした。そしてこれを機に豊田通商グループは、基本理念、行動指針、価値創造の実現に向けた『VISION 2015 -LEAD THE NEXT-』を策定。豊田通商グループスローガンを『G'VALUE with you』と定めて、大胆な変革の断行と使命達成のための強い決意を込めています。

また「機能」と「新しい価値を生み出す社会的役割」を創造し、お客さまに喜んでいただける価値を提供する会社を目指して、企業理念のあるべき姿を「価値創造企業」と改定しま

した。これを機に「豊かな社会づくりに貢献する価値創造」を、適法・適正かつ適切に行う者が「良き企業市民」であるという信念のもと、豊田通商グループの一人ひとりが良き企業市民としての誇りを持ち、ステークホルダーの皆さまからも認められる存在を目指し努めてまいります。

事業活動を通じたCSR

豊田通商グループは、CSRを特別な取り組みではなく、企業活動のすべてのあり方を律する、経営そのものであると考えています。従来の主軸事業である自動車分野を「第1の柱」として位置づけるとともに、これからは自動車分野における事業を強化し

ながら、その強みを非自動車分野に展開。非自動車分野においても「第2、第3の柱」の育成を目指し、各本部の成長を戦略的に考え、VISION 2015で掲げる収益構造「自動車分野：非自動車分野 = 50:50」を実現するために必要な投資を始める所存です。投資にあたっては長期、持続的に成長することを主眼に事業活動全般におけるCSR経営を推進していきます。

また商社活動を通して、持続可能な社会づくりに最も貢献できる分野に環境関連事業を掲げ、「リサイクル事業」、「温暖化対策」、「環境保全商品」、「自然環境保護」などへの取り組みを推進するとともに、社会貢献事業として「教育支援」、「福祉活動支援」、「スポーツ・文化支援」をテーマに、豊かな社会づくりに資する活動を展開し

ていきます。

さらに、CSR経営の推進に欠かせないのが、事業の動力源である人材の活性化です。性別、国籍、年齢、文化の違いにとらわれず、互いの多様な価値観を認め合い組織のダイナミズムを生み出すために、人材の「ダイバーシティ化(多様化)」を推進。いきいきと活躍できる職場があってこそ、一人ひとりの能力が十分に引き出され、付加価値のより高い仕事が遂行できるという考えのもと、今まで以上に自由で働きがいを感じられる組織風土づくりに取り組みます。

安全の確保は信頼の基本

当社では、21年前から地道な安全管理活動を進めてきたのですが、昨年海外の関連会社において、事故が発生しました。豊田通商グループはこうした事態を真摯に受け止め、経営トップ以下、全社員が「安全」を自分の問題として捉えることで、一致団結して災害ゼロ、事故ゼロを目指します。

そのために各本部に安全管理体制を織り込み、「ゼロ災推進チーム」を設置。63名から成る組織では、世界中の豊田通商グループへ「安全」を周知徹底するために、安全基準設定、現場改善進捗管理、現場安全活動などを開始しています。

「モノづくり商社」を目指す豊田通商グループにとって、安全の確保はお客様からの信頼の基本です。企業としての社会的責任を果たすために、そしてトヨタ生産方式のサプライチェーンの一翼を担う商社としてお客さまに支障を来さないために。今こそグループ社員が一丸となり、「現地・現物・現実に目線を置いた活動」と、「継

続と徹底に工夫と執念を持つ活動」を胸に、現場力を高め、安全の確保に向けて取り組む所存です。

持続可能な社会づくりへの貢献

現在の世界は著しい発展を遂げている一方で、人類の生存基盤である環境に異変が生じ、各地で異常気象災害が発生、国内でも重大災害の発生が相次いでいます。私たちの生活は地球・地域レベルの環境保全や社会の安定のうえに成り立っているにも関わらず、自然生態系のバランスや社会の平穏さが失われています。

豊田通商グループは、事業活動を通じて、世界の人々の生活に密接に関わっており、私たちが今後の持続可能な社会構築のために果たすべき役割と責任は大きいことを認識しています。

私たちの使命は、豊かな社会づくりに貢献するため、常に変化するニーズに対応しつつ新たなビジネスモデルを創り出し、これまでにない付加価値を市場や社会に提供しつづけることにあると考えます。その結果として、あらゆるステークホルダーの皆さまへの価値を高めることができると確信しています。

今後も、私たち社員一人ひとりが智恵を出し合い、チーム力を結集し、ビジョンの実現を目指してまいります。事業成果の適時・適正な情報開示によって、経営の透明性を確保し、誠実なコミュニケーションを行うことで、ステークホルダーの皆さまと揺るぎない信頼関係を築き、共に夢と感動を分かち合いながら、社会にとって価値ある企業となるよう努力してまいります。

2007年10月



G VALUE
with you